

第6回京田辺市総合計画審議会議事録（要旨）

日 時 平成28年3月22日（火）午前10時～11時10分

場 所 京田辺市庁舎5階 議会全員協議会室

出席者 <委員>吉川会長、今川副会長、日下委員、青木委員、中川委員
柳田委員、潮委員、中西委員、堀口委員、足立委員
山口委員、上原委員、眞鍋委員、松田委員、浦崎委員
村崎委員、西村委員、河内委員、加藤委員、河本委員
鈴木委員、青木(綱)委員

<市側>石井市長、鞍掛副市長、西川企画政策部長、村雲危機管理監、柴田総務部長
松尾市民部長、白井健康福祉部長、里西建設部長、吉岡経済環境部長
鈴木教育部長、橋本上下水道部長、北川消防長、池田企画調整室担当課長、事務局

1 開 会

【事務局】ただいまより、第6回京田辺市総合計画審議会を開会させていただきます。

本日は、お忙しい中、お集まりいただき厚くお礼申し上げます。

なお、本日は、畠山委員、田邊委員、中瀬委員が所用のため、ご欠席されております。審議会委員25名のうち22名のご出席をいただいておりますので、京田辺市総合計画審議会設置条例第5条第2項の規定により、本会が成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、お手元にお配りしております次第に基づきまして、吉川会長に進行をお願いしたいと思います。吉川会長よろしく願いいたします。

2 会長あいさつ

委員の皆さまには、本日非常にお忙しいところを第6回総合計画審議会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

前回の第5回審議会では「第3次京田辺市総合計画まちづくりプラン」のパブリックコメント案と、「京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のパブリックコメント案について審議いたしました。本日は、前回第5回審議会の後に実施されましたパブリックコメントにおける意見とその対応について審議してまいります。そして、本日ここでの審議を踏まえ「まちづくりプラン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を確定し、本日この場で諮問いただきました「第3次京田辺市総合計画まちづくりプラン」を市長に答申してまいりたいと考えております。

本審議会としての最後の審議となりますので、委員の皆さまにはよろしくご審議をお願いします。

3 第3次京田辺市総合計画まちづくりプランパブリックコメントについて

【会長】まず、第3次京田辺市総合計画まちづくりプランのパブリックコメント結果とその対応に

ついて、事務局から説明願います。

【事務局】本日お手元にお配りしております資料の確認をさせていただきます。

＜配付資料確認＞

資料に基づいて、ご説明をさせていただきます。

＜事務局資料説明＞

- ・資料1：第3次京田辺市総合計画まちづくりプランに対するパブリックコメント結果について
- ・資料2：第3次京田辺市総合計画まちづくりプラン（案）
- ・参考資料1：第5回京田辺市総合計画審議会意見対応（まちづくりプラン）

【会長】ただ今の事務局からの説明内容について何かご不明な点がございましたら、ご質問、ご意見を伺ってまいりたいと思います。

【委員】基本構想においては将来人口について、平成32年（2020年）8万人の人口フレームを掲げているが、まち・ひと・しごと創生総合戦略・人口ビジョンでは、p21に将来人口の推計で平成32年7万4千人、マックスになる人口についても平成37年7万6千人と示されている。京田辺市は8万人を前提とした総合戦略をやっていくのか、あるいは人口推計に則った7万4千人、7万6千人を取るのか、そのロジックをきちんと説く必要があるのではないかと。

【事務局】総合計画基本構想の人口フレーム8万人と、平成25年に行った人口推計上のピーク時人口と合わないということについて、その論理をどうなのかということですが、人口フレームについては8万人を維持します。人口ビジョンp42「人口の将来展望」に書いていますが、今後本市においては、結婚・出産の若い人の希望の実現によって、出生率が、国・府の設定と同水準になった場合には、シミュレーション上も人口フレーム8万人が満たされるということで、人口ビジョンの将来展望を書いています。現状では、推計上8万人に届かないが、地方創生の取り組みをすることによって、将来的に人口フレームの8万人を維持し、それを満たされるような人口を形成することを打ち出していますので、その意味で人口フレームの8万人は維持する。8万人を維持することは、8万人に合わせてインフラ整備もやっていくということになりますので、都市計画マスタープランにおいても8万人を前提に、まちづくり、インフラ整備を進めていく形になります。

【委員】希望的な観測と別に、人口はやはりシビアに、客観的にはそう多くはならないという冷静な目も必要だと思います。今後、京田辺がインフラを整備していくうえで、コンパクトシティをつくっていくなかでも、冷静に分析して、ハードを作っていくうえで将来に禍根が残らないような冷静な目も必要ではないかと思います。8万人のフレームでやるのはいいが、実際にいざやるとなったら、公共施設についても身の丈に合うような、きちんとした分析をして計画をしてもらいたいということをお願いしておきます。

【会長】計画は、自分たちがこうしたいという欲望を入れるのが計画なので、計画人口の推計においても、計画人口としてこうしたい、そのためにはまちをどのようにしていけばいいか計画を作っていくのが、計画論の教えるところであります。予測というのは、計画人口を決めるための情報であって、このままでいくと7万数千人になってしまう、それを8万人にするためには、どの

ような施策が必要なのか総合計画のいろいろなところに盛り込まれたと思っています。これからこの計画を実施していくにあたり、先生方のご指導をよろしくお願ひしたいと思っています。

【委員】デザインの観点から、写真やイラストが空白になっていますが、見た目も重要だと思います。例えばp131では、上が写真で下が空白になっている。これは全体的に写真を使うのかイラストを使うのかがあると思いますが、枠をある意味固定されていると思いますが、デザインや写真によってレイアウトは枠にとらわれずにやってもらいたい。

【事務局】枠通りとは特には考えていません。枠にとらわれずに良いデザインになるように、最終の製本に向けて今後事務局で調整させていただきたいと思っています。

【会長】第3次京田辺市総合計画まちづくりプランに対するパブリックコメント結果とその対応についての審議をいただきました。貴重なご意見を賜り、ありがとうございます。

それでは、この内容をもってパブリックコメントへの対応とするとともに、第3次京田辺市総合計画まちづくりプランとしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【委員】了承

4 京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口ビジョン・総合戦略）パブリックコメントについて

【会長】それでは次に、京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略のパブリックコメント結果とその対応について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】それでは資料の説明をいたします。

<事務局資料説明>

- ・資料3：京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案（人口ビジョン・総合戦略）に対するパブリックコメント結果について
- ・参考資料2：第5回京田辺市総合計画審議会意見対応（総合戦略）

【会長】ただいまの説明内容につきまして、ご質問、ご意見がございましたら、お願いします。

【委員】パブリックコメント意見のNo.10について、「子育て世代が住みやすいまちナンバーワン」という意見に対する考え方で、観光や京田辺の地域産品を中心に広くPR等、広く魅力を発信していくということで、それは結構な対応案だと思います。ただ、それを並べてみた時に、子育て世代が住みやすい場合、子育て世代にとって何が一番京田辺のブランドなのかと考えると、観光や地域資源ももちろん大事ですが、交通の便や勤務のしやすさ、子育ての中で保育施設が充実しているといった、直接的な子育て世代の求めているものをキャッチして有効に発信していく必要があるのではないかと思います。

「子育てしやすいまちナンバーワン」という「ナンバーワン」にちょっと違和感があり、何に対してナンバーワンなのかということです。数値目標として何かがあってナンバーワンなのか。意見にあるように日本一、関西一ということであれば、どういうことに対してナンバーワンなのか。具体案があればナンバーワンである目標をパブリックコメントの意見に対しての考え方として、こういうことに対してナンバーワンになると発信していくというように、ナンバーワンの定

義づけです。それと一番になることがいいことなのか、ということもありますので、ナンバーワンというのが本当に必要なのかな、とも思います。

【事務局】ご指摘いただいた所は、パブリックコメントへの回答について、いただいたご意見を加えて修正させていただきたいと思えます。「子育てナンバーワン」についてですが、これは市長が目指すところであり、これまで京田辺市は子育て支援医療や、4月1日時点の保育所待機児童ゼロの維持などを続けています。そういう意味で今後も引き続いて子どもを育てやすいまちナンバーワンという目標を持って、子育て支援を重点的にやっという姿勢をここに示しているということです。何に対してということですが、他自治体と比べてナンバーワンと自信を持てるような子育て支援ということかと考えます。

【会長】それでは、ただ今、京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略のパブリックコメント結果とその対応についての審議をいただきました。貴重なご意見を賜り、ありがとうございます。

それでは、この内容をもってパブリックコメントへの対応とするとともに、京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略としたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【委員】了承

【会長】それでは、本日予定していました審議については、これで終了とさせていただきます。

5 第3次京田辺市総合計画まちづくりプラン答申

【事務局】先ほど総合計画まちづくりプランの答申内容について決定をいただきましたので、答申をお願いしたいと存じます。

答申をいただく前に、会長より一言お願いします。

【会長】本審議会におきましては、昨年8月に第3次京田辺市総合計画まちづくりプランの策定についての諮問と、まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定についての審議を、京田辺市長から受けましたので、今日まで6回に渡り審議を行ってまいりました。この間委員の先生方には、ご多様なところ、多大なご尽力を賜りますとともに、それぞれの見地、立場から、京田辺市の発展につながる貴重なご意見を賜りまして、ありがとうございます。諸先生方のお力添えと事務局の努力によりまして、本日、第3次京田辺市総合計画まちづくりプランの答申とまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けた審議を終える運びとなりましたことを、当審議会の会長として大変うれしく存じているところであります。本審議会としての役割はここでいったん区切りとなりますが、これからは、先ほどの委員の先生方のご指摘のように、いかにしてこの計画を実現させていくかが問われてまいります。本審議会での答申、審議を進めてまいりました総合計画まちづくりプランとまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、京田辺市の都市像である「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向け、市長を先頭に事務局としても最善を尽くしていただきたく、お願いする次第です。

最後にここに至るまでの、委員の先生方のご指導ご鞭撻、事務局の努力に感謝申し上げますとともに、本日市長に答申できますことを深く感謝しております。ありがとうございます。

【事務局】ありがとうございます。それでは、会長より市長へ答申をお願いしたいと存じます。

【会長】第3次京田辺市総合計画後期基本計画まちづくりプランについて平成27年8月28日付

京企第46号で諮問のありました上記のことについて、本審議会で慎重に審議した結果、別添のとおり取りまとめましたので答申をいたします。

<会長から市長へ答申書を手渡し>

【市長】 どうもありがとうございました。

【事務局】 どうもありがとうございました。それでは市長よりご挨拶を申し上げます。

6 市長あいさつ

本日は、会長をはじめ審議会の委員の皆様、公私ご多用のなか、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

ただ今、第3次京田辺市総合計画まちづくりプランにつきまして答申をいただきました。委員の皆様には昨年8月に、平成28年度からの新しい総合計画まちづくりプランを諮問して以来、6回に渡る審議をいただきまして、地方創生総合戦略の策定も合わせ、長きにわたりご審議をいただきましたことに、心より厚くお礼を申し上げます。

さて本市におきましては、これまで、高い交通利便性と豊かな自然を生かし、市の北部・中部・南部の拠点駅を中心としてコンパクトシティの形成に取り組むとともに、子育て支援を重視したまちづくりを進めてまいりました。そうしたことから、全国的には人口減少、高齢化社会という中で、今なお本市の人口が増加することにつながっているものと考えているところでございます。引き続き、答申をいただきました総合計画まちづくりプランに基づき、特に政策マニフェストと連動性を持たせる中で、5つのキーワードによるまちづくり重点プロジェクトを推進するとともに、総合戦略に掲げます「子育て世代が住みよいまちナンバーワン」を目指して、京田辺市が誰もが住み続けたいと思える、魅力と活力あるまちづくりをしてまいりたいと思っております。また本市の先人たちが築いてこられた歴史・文化・伝統を受け継ぎながら、自然や環境と調和した美しい品格のあるまちを実現していくためにも、行政のみならず市民の皆様をはじめ委員の皆様方のご協力は不可欠であります。どうか、今後とも引き続きご指導ご支援を賜りますよう、お願いを申し上げますとともに、委員の皆様のご健勝と今後の一層のご活躍を心より祈念いたしまして、簡単でございますがごあいさつとさせていただきます。ただ今会長からございましたように、このプランの実現に向けて頑張りたいと思っておりますので、どうか重ねて皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げて、お礼のごあいさつとさせていただきます。本日はありがとうございました。

7 閉会

【事務局】 ありがとうございました。今後、市では本日答申いただきました「第3次京田辺市総合計画まちづくりプラン」と「京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、新たなまちづくりに着実に取り組んでまいります。皆様方には今後ともお力添えいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、今後、総合計画まちづくりプラン、総合戦略ともに、市の内部手続きを経まして、市議会への報告、計画書の印刷製本を行いまして、委員皆さまのお手元にお届けさせていただきます。

それでは、長期間にわたり、たいへんありがとうございました。以上をもちまして、京田辺市総合計画審議会を閉会いたします。ありがとうございました。